



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社デュアルタップ
コード番号 3469 URL <http://www.dualtap.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 貴弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 本田 一郎

TEL 03-5795-2323

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	7,868	58.9	362	17.8	277	9.3	179	11.3
28年6月期第3四半期	4,950		307		254		161	

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 176百万円 (9.3%) 28年6月期第3四半期 161百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	165.53	163.53
28年6月期第3四半期	192.54	

(注) 1. 当社は、平成27年6月期第3四半期においては、連結財務諸表を作成していないため、平成28年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 平成28年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	5,898	1,339	22.7
28年6月期	4,831	919	19.0

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 1,339百万円 28年6月期 919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		30.00	
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,468	35.3	440	7.1	333	1.1	213	1.1	194.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	1,121,300 株	28年6月期	840,000 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	48 株	28年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	1,087,368 株	28年6月期3Q	840,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用及び所得環境の改善傾向にあり、個人消費が持ち直しをみせるなか、政府の各種政策による下支えもあり緩やかな回復基調にあります。しかしながら、アジア新興国や資源国等の景気の低迷によるリスクや金融資本市場の変動による影響を受け、依然、先行きに不透明感があります。

当社グループの属する不動産業界におきましては、東京オリンピック開催や震災復興等の影響を受け高騰した建築費は高止まりの傾向にあります。また、株式会社不動産経済研究所が作成している「首都圏のマンション市場動向」によると、戸当たり価格及び平米単価については、各月の前年同月比が数ヶ月のサイクルで上昇と下落を繰り返しており、価格が不安定な状況にあります。また、平成29年3月度の首都圏におけるマンション販売戸数は前年同月比26.6%増と2ヶ月連続で増加しております。首都圏への人口流入及び単身世帯の増加傾向を背景に、首都圏においては安定した賃貸需要が続いており、低金利の下支えもあって、購入需要については堅調に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは、自社ブランドマンション「XEBEC（ジーベック）」シリーズの立地及び高級感ある仕様の提供を徹底することで、ブランド力の強化を図り、投資家や入居者等に対する多様な価値の提供に努めてまいりました。また、賃貸管理において自社販売物件以外の物件管理獲得にも取組み企業の基盤強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高78億68百万円（前年同期比58.9%増）、営業利益3億62百万円（同17.8%増）、経常利益2億77百万円（同9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億79百万円（同11.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当第3四半期連結会計期間より、非連結子会社であったDUALTAP BUILDING MANAGEMENT SDN. BHD. を連結の範囲に含め、当該会社の事業活動を従来のセグメント「海外不動産事業」に含めております。

(不動産販売事業)

不動産販売事業においては、自社ブランドマンション「XEBEC（ジーベック）」シリーズの開発エリア及び販売チャネルの拡大に注力いたしました。東京23区のうち、前期以前より取扱のある城南及び城北エリアに加えて城東エリアまで開発エリアを拡大しております。また、販売チャネルについては、個人投資家のみならず投資法人への販売を行っております。

以上の結果、売上高68億96百万円（前年同期比65.3%増）、セグメント利益2億66百万円（同11.0%増）となりました。

(不動産賃貸管理・仲介事業)

不動産賃貸管理事業においては、自社開発物件の販売に伴う管理契約の新規獲得に加え、他社物件の管理契約獲得により管理戸数が増加しております。また、前期に引続き地域の不動産仲介業者とのコミュニケーションを積極的に行うことで当社管理物件の認知度の向上に努めてまいりました。不動産仲介事業においては、当社子会社の株式会社Dualtap Property Managementにて、インターネット媒体による集客の見直しを図り、業務の効率化及び収益力の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高9億9百万円（前年同期比23.8%増）、セグメント利益82百万円（同147.6%増）となりました。

(海外不動産事業)

海外不動産事業においては、当社子会社の株式会社Dualtap Internationalにてこれまで主軸としてきたアジア圏に加えイギリス不動産紹介ビジネスに注力し、活動エリア及び顧客層の拡大に努めてまいりました。また、DUALTAP BUILDING MANAGEMENT SDN. BHD.にて、マレーシア国内の建物管理事業の推進に注力してまいりました。

以上の結果、売上高62百万円（前年同期比43.9%増）、セグメント利益4百万円（同80.4%減）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産販売事業における収益物件の販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から10億67百万円増加し58億98百万円となりました。総資産の増加の主な要因は、販売用不動産が10億90百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から6億46百万円増加し45億58百万円となりました。負債の増加の主な要因は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が2億58百万円、営業未払金が1億36百万円減少した一方で、短期借入金が11億20百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から4億20百万円増加し13億39百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、公募増資及び第三者割当増資等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1億79百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は22.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月10日の「平成28年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	708,366	1,132,364
営業未収入金	1,392	27,665
販売用不動産	573,691	1,664,559
仕掛販売用不動産	1,829,071	1,584,129
前渡金	155,319	45,866
未収入金	48,180	34,397
繰延税金資産	7,570	1,384
その他	32,044	77,968
貸倒引当金	△22	△687
流動資産合計	3,355,614	4,567,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,321	601,316
土地	612,224	599,848
リース資産(純額)	3,612	10,096
その他(純額)	21,143	18,834
有形固定資産合計	1,363,301	1,230,095
無形固定資産	6,182	6,042
投資その他の資産		
差入保証金	10,420	15,198
投資有価証券	29,000	12,000
その他	66,633	67,210
投資その他の資産合計	106,054	94,409
固定資産合計	1,475,537	1,330,547
資産合計	4,831,152	5,898,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	316,405	179,423
短期借入金	345,426	1,466,100
1年内償還予定の社債	77,120	76,120
1年内返済予定の長期借入金	1,188,291	1,210,299
リース債務	1,850	2,402
未払金	131,903	110,356
未払法人税等	82,552	44,680
前受金	59,529	91,227
その他	81,388	79,594
流動負債合計	2,284,466	3,260,204
固定負債		
社債	819,020	763,600
長期借入金	736,371	455,536
受入保証金	68,127	69,244
リース債務	2,665	8,696
繰延税金負債	1,002	1,049
その他	441	441
固定負債合計	1,627,628	1,298,567
負債合計	3,912,094	4,558,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	66,204	205,129
資本剰余金	—	138,925
利益剰余金	852,853	998,634
自己株式	—	△74
株主資本合計	919,057	1,342,614
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△3,190
その他の包括利益累計額合計	—	△3,190
純資産合計	919,057	1,339,424
負債純資産合計	4,831,152	5,898,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,950,808	7,868,098
売上原価	3,985,408	6,790,042
売上総利益	965,400	1,078,055
販売費及び一般管理費	658,011	715,895
営業利益	307,388	362,160
営業外収益		
受取利息	65	17
助成金収入	13,461	5,371
その他	191	1,791
営業外収益合計	13,718	7,180
営業外費用		
支払利息	41,782	66,464
株式公開費用	—	15,692
支払手数料	6,106	9,008
社債発行費	17,718	—
その他	1,125	255
営業外費用合計	66,732	91,421
経常利益	254,374	277,919
特別損失		
子会社清算損	774	—
特別損失合計	774	—
税金等調整前四半期純利益	253,599	277,919
法人税、住民税及び事業税	86,750	91,698
法人税等調整額	5,113	6,233
法人税等合計	91,863	97,931
四半期純利益	161,736	179,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	161,736	179,987

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	161,736	179,987
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△3,190
その他の包括利益合計	—	△3,190
四半期包括利益	161,736	176,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,736	176,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、平成28年7月21日をもって同取引所JASDAQ市場に上場いたしました。この株式上場にあたり、平成28年7月20日に公募増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ102,120千円増加しております。

また、平成28年8月25日に株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社株式の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ33,699千円増加しております。

さらに、第1回新株予約権の権利行使による新株式発行に伴い、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,105千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が205,129千円、資本剰余金が138,925千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、重要性が増したため非連結子会社であったDUALTAP BUILDING MANAGEMENT SDN. BHD. を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	不動産販売 事業	不動産賃貸管 理・仲介事業	海外不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,173,035	734,522	43,251	4,950,808	—	4,950,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	648	26,000	26,648	△26,648	—
計	4,173,035	735,170	69,251	4,977,456	△26,648	4,950,808
セグメント利益	240,433	33,146	24,494	298,074	9,314	307,388

(注) 1. セグメント利益の調整額9,314千円は、セグメント間取引消去9,314千円であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	不動産販売 事業	不動産賃貸管 理・仲介事業	海外不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,896,331	909,543	62,223	7,868,098	—	7,868,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	10,000	10,000	△10,000	—
計	6,896,331	909,543	72,223	7,878,098	△10,000	7,868,098
セグメント利益	266,935	82,064	4,791	353,791	8,368	362,160

(注) 1. セグメント利益の調整額8,368千円は、セグメント間取引消去8,368千円であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。